

www.jwing.net
mail@jwing.net



ヨーロッパ特集2018

ツアー造成に役立つお祭り／イベント、欧州文化首都

Team
EUROPE



JATA | Team EUROPE

「旅行会社にしかできない商品造成」を JATA「Team EUROPE」の取り組み

Team
EUROPE

海外旅行の需要喚起に取り組む日本旅行業協会(JATA)のアウトバウンド促進協議会(JOTC)。2020年の日本人海外旅行者数を2000万人に引き上げるべく、方面別に設けた各部会では、会員である各旅行会社の商品造成へのサポートを行う。このうち欧州部会(Team EUROPE)では、これまでに「ヨーロッパの美しい村30選」や「欧州文化首都」、「ヨーロッパの美しい街道20選」など、「旅行会社にしかできない商品造成」を訴求、各旅行会社へ商品造成の働きかけを行ってきた。その取り組みや現状を紹介したい。

旅行会社の企画力を活かす 旅行素材を提案

Team EUROPEでは、これまでに「ヨーロッパの美しい村30選」(2015年)、「欧州文化首都」(2016年)、「ヨーロッパの美しい街道20選」(2017年)など、新たな切り口による旅行素材を提案、旅行会社の商品造成をサポートしてきた。実際にこれらをテーマにした商品造成は進んでおり、年々そのツアー数と集客数は拡大、着実にその成果をあげている。

これまでに選ばれた素材は、いずれも魅力的な素材であるものの、個人旅行ではなかなか行きづらいエリアが多い。そのため、旅行会社の企画力や手配力を十分に活かすことができ、まさに「旅行会社にしかできない商品造成」が可能となる。

新たなマーケットを創造 2020年に訪欧者 400万人弱の実現へ

例えば、2015年より展開している「ヨーロッパの美しい村30選」では、2015年度下期のコース数が71で、集客実績が延べ3933人だったものが、2017年度下期では233コース、1万7181人へと大幅に拡大(表1参照)。なかでも英国のコンウィは、2015年度下期がコース数ゼロ、集客実績ゼロから、上期と下期のシーズンリティーの差があるものの、2018年度上期で25コース、集客目標3838人に、またフィンランドのボルヴォーも、コース数／集客実績ゼロから(2015年度下期)、19コース／2641人(2018年度上期、集客人数は目標値)へと、まさに「新たなマーケットを創造」した形となった。

EU(欧州連合)が毎年定める「欧州文化首都」を旅行素材として提案し始めたのは2016年。こちらも2016年度下期の61コース／2801人だったのが、2017年下期には93コース／5131人へと倍近くにま

で拡大(表2参照)。特に2017年の欧州文化首都だったキプロスのパフォスは、2016年下期で8コース／102人だったのが、2017年下期には16コース／1144人へと約11倍、2018年の欧州文化首都であるマルタのヴァレッタは、2016年度下期でコース数ゼロだったのが、2017年下期には37コース／1909人となった。

昨年よりスタートした「ヨーロッパの美しい街道20選」にも期待が集まる。2018年度上期では、64社が111のコースを企画、6956人の集客を目標とする。「不思議の国ウェールズ古城街道」(英国)、「虹色の道」(イタリア)、「リング街道」(オーストリア)、「アルプス湖畔街道」(スイス)、「カタルニア地方の中世街並み街道」(スペイン)、「ボヘミアン交易街道」(チェコ)、「黒い森高原街道」(ドイツ)、「エーゲ海オリーブ街道」(トルコ)、「バートン／ハイランドの道」(ハンガリー)など、これまでツアー企画がなかったものも多く、いずれも2018年度上期で新たに商品化されており、新たな旅行トレンドになるか注目したいところだ(表3参照)。

JOTCでは、2018年の海外旅行者数1860万人(前年比4.0%増)および、2020年での2000万人突破(2042万人)の目標を設定。この目標に合わせ、欧州部会(Team EUROPE)でも日本からヨーロッパへの訪問者数目標を掲げており、2018年に375万人(前年比4.2%増)、2020年で392万人の達成を目指している。



昨年のツーリズムEXPOジャパンでのプレゼンテーションの様子

役に立つ情報がいっぱい！

Team EUROPE情報Webサイト

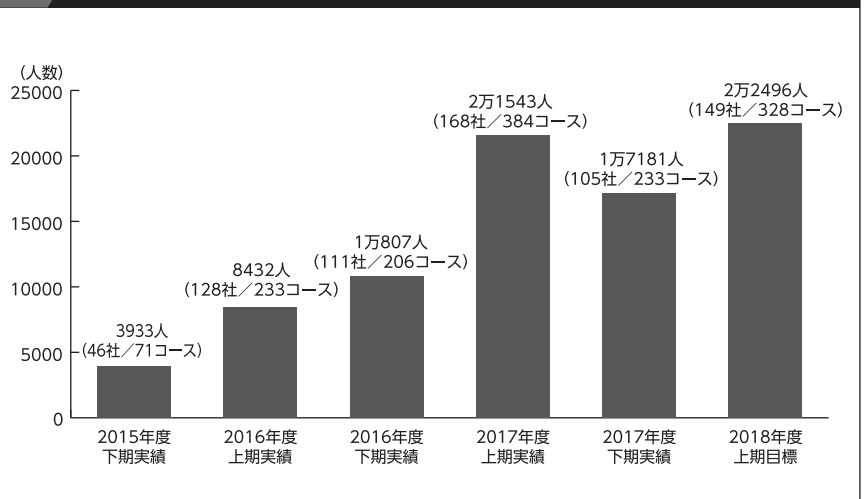
<http://www.jata-net.or.jp/team-europe/>



Team EUROPE情報Webサイト
www.jata-net.or.jp/team-europe

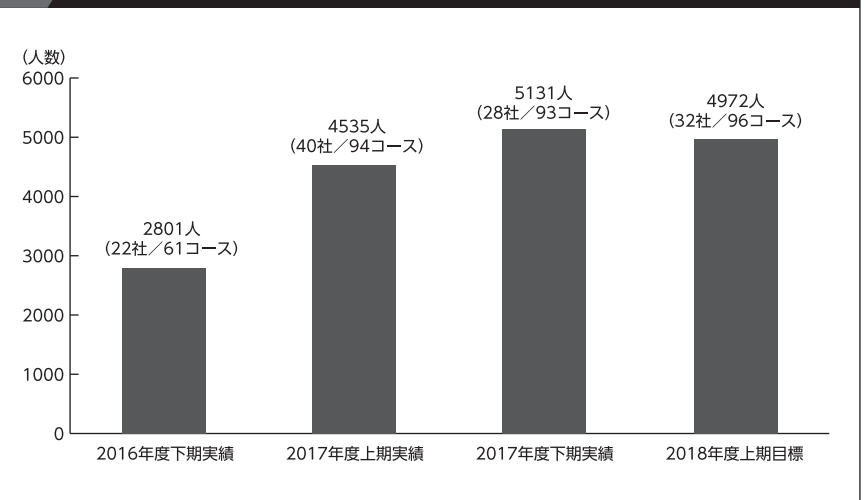
ヨーロッパの商品造成に役立つ企画ヒントをさまざまな切り口で紹介するTeam EUROPEのウェブサイト「Team EUROPE情報Webサイト」。Team EUROPEで進めている「ヨーロッパの美しい街道20選」や「欧州文化首都」、「ヨーロッパの美しい村30選」などの情報をカバー。旅行会社の企画担当者のみならず、販売スタッフにも必見の内容だ。是非一度アクセスして、常に内容をチェックできるよう、ブックマークに入れておきたい。

表1 「ヨーロッパの美しい村30選」販売実績



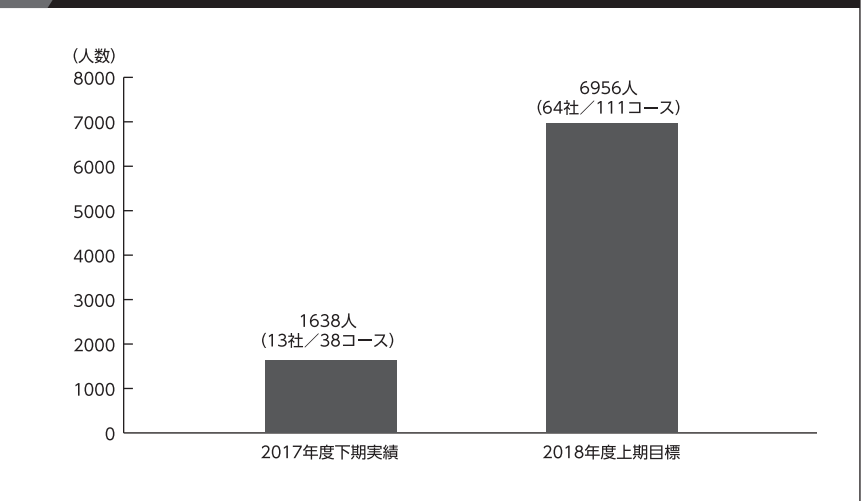
JATA調べ

表2 「欧州文化首都」販売実績



JATA調べ

表3 「ヨーロッパの美しい街道20選」販売実績



JATA調べ

週刊ウイングトラベル

ヨーロッパ特集2018

CONTENTS

	Page
JATA Team EUROPE	2
ANA	3
レイルヨーロッパ	4
ポーランド政府観光局	5
ツアー造成に役立つお祭り／イベント	6
2019年の欧州文化首都	8
マルタ観光局	9
トルコ共和国大使館・文化広報参事官室	10
ターキッシュ エアラインズ	11 12

ANA ANA

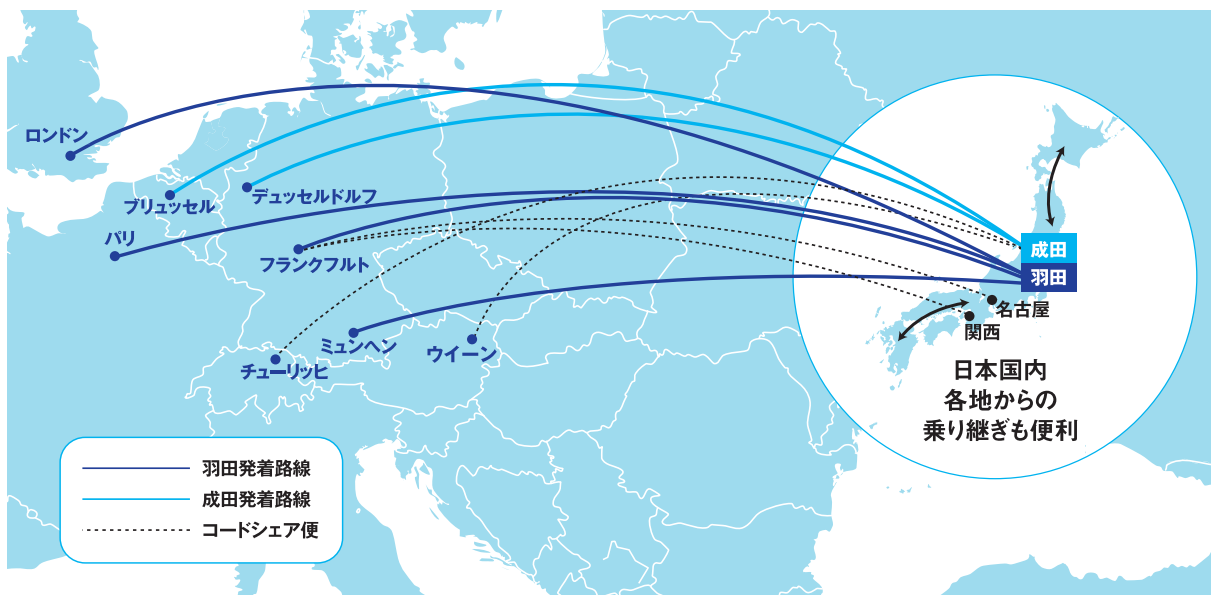
ANA Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER

ANAで行くヨーロッパ

利便性の高いネットワークと充実したサービスで、ビジネスに、レジャーにも便利

NETWORK



日本からヨーロッパ180都市*へ最大のネットワーク

日本からヨーロッパへ、最大のネットワークを誇るANA。特にドイツへはフランクフルト、ミュンヘン、デュッセルドルフの3都市へ運航。またコードシェア便でヨーロッパ各地を幅広くカバー、スムーズな乗り継ぎでアクセスできる。

*2018年3月現在。コードシェア便も含む

羽田から、成田からヨーロッパへ、日本国内各地から利用できる

羽田と成田の両空港からヨーロッパへの直行便を運航しているのも便利。日本最大の航空会社として、日本の国内各地から羽田、または成田を経由してヨーロッパへ向かうことも可能だ。

便利な羽田発深夜便も 選べるフライトスケジュール

羽田ーフランクフルト線には、便利な羽田深夜発のフライトを設定。仕事帰りでも、日本国内各地からの利用ができる。またフランクフルトには早朝に到着するので、その先のヨーロッパ各地へも早く到着できるのも便利だ。羽田午前発のフライトと合わせ、スケジュールに応じてフライトが選べる。

*2018年夏期スケジュール。スケジュールは予告なく変更する場合があります

SERVICE



日本で唯一6年連続、世界最高評価「5スター」を獲得

BUSINESS CLASS

ビジネスクラス



- フルフラットシートで、全席通路側の「スタaggerド配列」
- 個のスペースを意識した大型テーブル
- ユニバーサル電源やUSBポート、パーソナルライトなどを装備
- ベッドパッドやコンフォーター、ノイズキャンセリングヘッドフォン、アメニティキットなどを用意
- 優先搭乗や優先手荷物サービス、ANAラウンジで出発前のひとときを

THE CONNOISSEURS



- 有名レストランやシェフとのコラボレーションによるワンランク上の食事を提供
- 充実のドリンクセレクションと、好きな時間を楽しむ軽食も用意

2018年9月の和食は「銀座奥田」、デザートは「ビエール・エルメ・パリ」

PREMIUM ECONOMY

プレミアムエコノミー



- シートピッチ38インチ(約97cm)、シート幅19.3インチ(約49cm)のゆとりあるシート。レッグレストやフットレスト(2列目以降)も
- ユニバーサル電源やUSBポート、パーソナルライトなどを装備
- プレミアムエコノミーだけのサービス(スパークリングワイン、アメニティの提供、軽食のサービス:一風堂のミニラーメンやビジネスクラスの飲み物やデザート、ノイズキャンセリングヘッドフォンとスリッパ)
- 2018年6月1日より、フライト中の中間食(パン)サービスが登場(日本発便/エコノミークラス含む)



画像はすべてイメージです。各仕様は変更になる可能性があります。

Rail Europe

ヨーロッパの鉄道を販売して顧客満足度アップへ 手軽なアプリエイトからシステムの導入まで様々なB2Bビジネスを展開



©zb Zentralbahn AG

高速鉄道ネットワークの整備が進み、自国内だけでなく、隣国と合わせたネットワーク化を進める動きが盛んなヨーロッパ。陸続きのヨーロッパでは、鉄道利用のメリットが大きい。鉄道の駅は町の中心。飛行機を利用して郊外にある空港まで移動した場合と比較するとその差は歴然だ。ヨーロッパでは、2025年までに中都市以上の都市間を、高速鉄道で「3時間30分前後」で結ぶことを目指し、現在高速化による所要時間の短縮化が進んでいる。この「3時間30分」という時間は、1時間未満の飛行時間と比較した時に競争力のある時間として、検証の上設定されたものだ。飛行

機の場合と同様、鉄道もEチケット化が進み、旅行会社の手間は軽減され、便利でより販売しやすくなった。イールドコントロールされている高速路線の料金は、事前予約が断然お得。またオンラインでの販売が必至だ。手軽なアプリエイトからシステムの導入までさまざまな形でB2Bビジネスを展開するレイルヨーロッパ。なかでも鉄道パスは種類が豊富で、それぞれの旅の目的に合わせた商品を選択できる。割引やボーナス特典がついている鉄道パスや区間乗車券など、お得に旅行の提案ができる「鉄道の旅」を、大切なお客様に勧めてみてはいかがだろうか。

なぜ、ヨーロッパの移動には鉄道がよいのか？

1 鉄道の駅は、ほとんどが町の中心

駅は既に町の中心なので、ビジネスにもレジャーにも便利。ホテルにも近く、公共交通機関にもアクセスしやすい。飛行機を利用した場合、空港から町中までの移動時間がかかるばかりか、出発前のチェックインの時間も考えると、時間のロスが大きい。



©ÖBB Harald Eisenberger

2 渋滞とは無縁で、正確な到着時間が把握できる

365日運行しており、渋滞とは無縁なので、思わぬ時間のロスがなく、正確な到着時間が把握できる。



©レイルヨーロッパジャパン

3 充実した車内サービス

その土地ごとの味が楽しめる食堂車やバー、車内販売など、旅の醍醐味を堪能できるのも魅力。大きな窓もあり、美しい景色を楽しみながら、快適に移動できる。また、ファミリールームや幼児のおむつ替えルームなど、家族旅行に嬉しい子供向け設備も充実。



©レイルヨーロッパジャパン

日本で鉄道商品を手配するためには？

1 運行スケジュールはいつでも検索可能

レイルヨーロッパウェブサイトから運行スケジュールを24時間いつでも検索

2 お得なグループ、RIT料金も

パッケージツアー造成用の特別なツアーパスやRITの料金も設定

3 問い合わせは日本国内総代理店(GSA)へ

レイルヨーロッパジャパンでは、日本国内5社の総代理店に販売を委託している商品の問い合わせ／申し込みは、総代理店、または鉄道商品を販売する旅行代理店へ

HOT NEWS

ドイツ鉄道(DB)がますます便利に！

ミュンヘンやベルリン、フランクフルトなど、ドイツの全主要都市を結ぶドイツ鉄道(DB)の高速列車ICE。このほどベルリンとミュンヘンを結ぶ新しい高速路線が開通、時速300kmでの走行が可能となり、ベルリンーミュンヘン間の所要時間は4時間以下と、約2時間も短縮された。供給座席も1万席追加、12月からは列車2本が増発される。

また、この夏よりウイーン発のICEがスピードアップ。ウイーンーニュルンベルク間は4.5時間、フランクフルトーウイーン間は6.5時間で結ばれ、2時間ごとの運行となる。

さらにベルリンープラハ間でも、この夏よりECが高速化。ベルリンードレスデン間が1時間50分(2020年までに1時間半に短縮)、ベルリンープラハ間が4時間10分となった。

ほかにもこの夏より、シュトゥットガルトーチューリッヒ間のICが1時間ごとの運行となり、利便性が向上。フランクフルトーカールスルーエーバーゼーミラノ間の「3ヶ国列車」もICE相当の高速列車が1日1本登場、同区間を7.5時間で結ぶ。

今後は、2018年12月を目処に、ベルリンーウイーン間を結ぶ新たな列車が登場する予定だ。



©レイルヨーロッパジャパン

タリス(Thalys)が2019年にネットワークを拡大

パリ、ブリュッセル、アムステルダム、ケルン間を結ぶ高速鉄道「タリス」では、2019年よりブリュッセル／アムステルダムーボルドー間で週に1本(夏季)、アムステルダム／ブリュッセルと、マルヌ・ラ・ヴァレ(ディズニーランド・パリ)とCDGを結ぶ列車が1日に1本となる予定。なお、アムステルダム／ブリュッセルーリール間の列車は2019年に廃止となる予定だ。

その他各路線でサービス拡充

ロンドンやパリ、ブリュッセルなどの主要都市間を結ぶ高速列車「ユーロスター」では、アマゾンと提携し、アマゾンプライムビデオを車内サービスとして導入予定。またパリ、モンペリエ、バルセロナ、マドリッドといったフランスとスペインの主要都市を結ぶ「フランス・スペイン高速鉄道」では、2018年秋、無料Wi-Fiを導入するなど、サービスの充実を図っている。さらに、鉄道、バス、湖船の乗り放題や美術館の入館無料など、スイスを旅するのにお得な「スイストラベルシステム」に、スイストラベルガイドアプリが登場(英語のみ)。スイス国内の列車、バス、船といった公共交通機関の観光客向けガイドアプリで、観光スポットや各種情報を確認できる。

ヨーロッパ鉄道・取扱旅行代理店

■(株)HIS 新宿本社営業所 鉄道の旅専門デスク 〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-33-8 サウスゲート新宿1階 tel: 03-5360-4781 Email: tw-tetsudo@his-world.com	■JTB首都圏 JTBトラベルゲート横浜 〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-7-6 日土地横浜西口第一ビル tel: 045-312-2869 fax: 045-322-3406
■マックスビストラベル／(株)欧州エクスプレス 〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 いちご渋谷道玄坂ビル9階 tel: 03-3780-0468 fax: 03-3780-1290 Email: maxvista@ohshu.com	■レイルヨーロッパ http://www.raileurope.jp(オンライン販売のみ)
■地球の歩き方ヨーロッパ鉄道デスク／(株)ダイヤモンドビッグ社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-9-1 RBM東八重洲ビル6階(通信販売のみ) tel: 03-3553-6641 fax: 03-3553-6692 Email: eurail@arukikata.co.jp	



©Thalys International

レイルヨーロッパジャパンは
2018年設立20周年

RAIL EUROPE

各種キャンペーンの情報は、
メルマガはもちろんFacebookも
ご確認ください！

お問い合わせ／レイルヨーロッパジャパン

E-mail contact@raileurope.jp www.raileurope.jp

旅行業界向け情報提供ウェブサイト をリニューアルオープン <http://www.raileurope.jp/agent/>

レイルヨーロッパジャパンは、旅行業界向けの鉄道商品や鉄道関連の最新情報を日本語で提供するウェブサイトのリニューアルオープン。メールマガジンで月に1度提供していたニュースを月2回アップデートしていくほか、GSAリスト、エクストラネットの登録申込み、研修旅行参加レポート、レイルエキスパート養成講座の規約や概要などの情報満載のサイトだ。

ヨーロッパの鉄道パスの各種割引キャンペーン実施中

レイルヨーロッパでは、ヨーロッパをお得に旅することができる各種割引キャンペーンを実施中。10月～12月にかけては、ユーレイル、ブリットレイルパス、タリス、ドイツ鉄道、TGVリリアで各種プロモーションを予定するほか、フランス国内の鉄道チケット購入対象者やミラノまたはフィデンツァ発着の鉄道チケット購入者へのアウトレットでのディスカウントができるなど、各種特典を用意。各プロモーションの詳細はウェブサイト参照のこと。

世界のラグジュアリーートレインを販売

レイルヨーロッパでは、ヨーロッパの鉄道商品に加え、世界のラグジュアリーートレインの取り扱いも行っている。アメリカのアムトラック、カナダのVIA鉄道、ロッキー・マウンテン号、オーストラリアのレールオーストラリア、ザ・ガン、インディアン・パシフィック、韓国のコレール(韓国鉄道公社)等の鉄道に加え、2017年からはベニス・シンプロンオリエンタル急行、ブリティッシュ・ブルマン、イースタン&オリエンタルエクスプレスの取り扱いも開始。また、海外からの訪日観光客向けに日本のJRグループの各種パスも販売している。詳細はお問い合わせのこと。

Heart of Europe

POLAND

のどかな風景に 癒やされる旅

古都クラクフを拠点に 南東ポーランドの多彩な魅力を探る

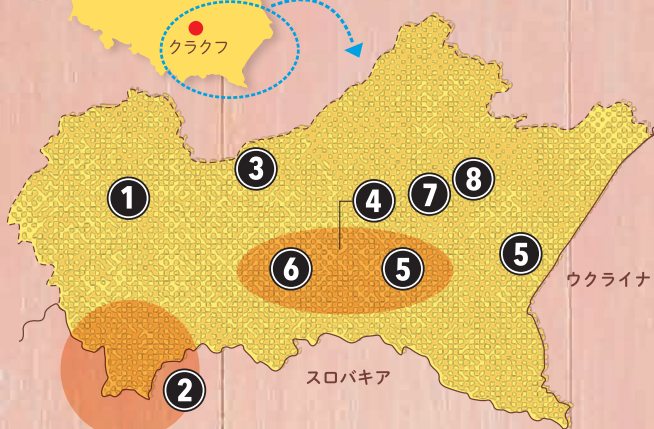


モルスケー・オコ湖 (タトリ山脈)

ポーランド

ワルシャワ ●

クラクフ ●



① クラクフ

中世のヨーロッパが今に残る「ポーランドの古都」

世界遺産



中世の時代に貴重な塩で財を成し、「中欧の中心」として繁栄を極め、ヨーロッパ最大の中央広場やヴァヴェル城など、当時の建物が今に残る。周辺には13世紀のヨーロッパ最古の岩塩坑として知られる世界遺産のヴィエリチカ岩塩坑も。

② チーズ街道をたどってタトリ山脈へ

自然豊かな山岳リゾート



クラクフから南へ、素朴な木造建築が立ち並ぶザコパネは、山岳リゾートとして人気。ウィンタースポーツが盛んだが、周辺には緑豊かな森林が広がり、夏のハイキングもおすすめ。また羊から作られる俵型の可愛い形をした燻製チーズ「オスツイベック」は、この名産。産地を巡る「チーズ街道」もある。

③ 「かわいい」花柄に囲まれて

ザリピエ村

ヨーロッパの美しい村30選



女性たちがこぞって家の壁に可愛い花柄のペイントを施したのがきっかけで、いまでは村の至る所に、競い合うかのように花模様があふれている。造花やペイントのワークショップに参加することもできる。



④ 素朴な木造教会をめぐる

豪華な内装に思わずため息

世界遺産

クラクフから東、ウクライナの国境にかけて点在する木造教会。東方正教会をルーツとするタマネギ型のドームや内部のイコンが美しい「カルパチア地方の木造教会群」と、大きな屋根と尖った鐘塔、内部のカラフルな装飾が特徴の「南部マウオポルスカの木造教会群」は、どちらも世界遺産だ。

カルパチア地方の木造教会群



聖女バラスケヴァ正教会 (クフィアトン)

南部マウオポルスカの木造教会群



聖使徒フィリポ聖使徒ヤコブ教会 (センコヴァ)

⑤ 古城ホテルとマナーハウスに泊まる

クラシチン城とドヴァール・コンボルニア

クラシチン城 www.krasieczyn.com.pl/enドヴァール・コンボルニア dworkombornia.business.site

ウクライナ国境近くにあるクラシチン城は、ルネサンスおよびマニエリスム様式の古城で16世紀後半～17世紀の建造。またドヴァール・コンボルニアは、元は城があったという場所に18世紀に築かれた瀟洒なマナーハウス。部屋ごとに色調とインテリアが異なり、上品な雰囲気。世界のワインをテイスティングできるセラーがあり、レストランでは絶品のポーランド料理が味わえる。

⑥ ハチミツの世界に触れる

ハチミツ博物館

ハチミツ博物館 bartnik.pl/en/

ストルージェにあるハチミツ博物館は、ポーランドの食文化に欠かせないハチミツの歴史を知ることができる。併設のレストランでは、蜂蜜を使ったクッキーやコスメを買うことができ、お土産にオススメだ。



⑧ 昔の姿を今に残すワイント城

必見！ウォッカ博物館

ジェシュフ近郊にあり、20世紀の戦争の被害をほとんど受けず、昔のままの姿が今に残る。馬車コレクションをはじめ、歴史的価値の高い豪華な調度品が展示されている。またワイントの町にあるウォッカ製造工場に併設するウォッカ博物館では、ウォッカづくりの歴史などを展示。見学の最後にはウォッカの試飲もできる。



ワイント城



ウォッカ博物館

www.muzeumgorzelnictwa.pl

⑦ ジェシュフ

南西ポーランドの拠点都市

ワルシャワから国内線のフライトが飛ぶので便利。航空産業で栄え、旧市街の広場には、まるで城のような造りをした市庁舎があり、現在も市役所として機能している。元々は16世紀の建築だったが、現在残るのは19世紀後半から末にかけて大規模改修が行われたネオゴシック様式のもの。



ジェシュフ市庁舎

ポーランド政府観光局 www.poland.travel

ヨーロッパの各観光局がおすすめする

ツアー造成に役立つ お祭り／イベント

日本で活動するヨーロッパの各観光局が
旅行業界向けにおすすめする
ツアー造成に役立つお祭りやイベントを紹介したい。



英国政府観光庁

trade.visitbritain.com/ja (旅行業界向け)

オルニー・パンケーキ・レース

olneypancakeraace.org**場所** バッキンガムシャー／南東イングランド**日時** 毎年2月の懺悔の火曜日(Shrove Tuesday)

キリスト教にまつわる伝統行事パンケーキ・デー。15世紀に地元の主婦がパンケーキを焼いていた時に礼拝の始まりを告げる教会の鐘が鳴り、慌ててフライパンを持ったまま教会に駆けつけたことが祭りの由来。パンケーキをフライパンに載せ、エプロン姿で通りを駆け抜ける。



©VisitEngland/Olney Pancake Race/Andy Handley

**併せて提案したい
旅行素材** アフタヌーン・ティー発祥の地ウォバーン・アビーと、
英国紳士靴の聖地ノーザンプトン

英国ウェールズ政府

www.wales-japan.com/wales/tourism

スランゴスレン国際音楽祭アイステッドフォッド

international-eisteddfod.co.uk/**場所** スランゴスレン**日時** 毎年7月初旬

北ウェールズの小さな町で音楽・ダンス・パフォーマンスの技を競う国際芸術祭。芸術を通して、平和と親善を目的としたカラフルでポップ、そして伝統と歴史を重んじたフェスティバル。カラフルで美味しい不思議の国の夏の祝祭。



©Crown copyright / Visit Wales

**併せて提案したい
旅行素材** スランゴスレン鉄道、馬引きポート、
プラス・ネヴィス、世界遺産ポンテカサステ水路橋

英国湖水地方観光局(湖水地方ジャパン・フォーラム)

www.kosuichihou.com

ダルメイン・マーメレードフェスティバル

www.dalemain.com/marmalade-festival**場所** ダルメインの館 ベンリス／湖水地方**日時** 毎年3月中旬(2019年は3月16日の予定)

日本でもその知名度がじわじわと上がりつつあるダルメイン。近年、マーメレード・アワードへの日本からの出品が増加。アフタヌーン・ティーや、マーメレード作りのグループ対応も可能だ。2019年5月には愛媛県八幡浜市でも開催予定。



©Hermione McEush Photography

**併せて提案したい
旅行素材** 美しいアルズウォーター(湖)と
シャロウ・ベイ(カントリー・ハウスホテル)

アイルランド政府観光庁

www.ireland.com

セント・パトリックス・フェスティバル

stpatricksfestival.ie**場所** ダブリン中心部**日時** 3月17日とその前後数日間

アイルランドのナショナルデー「セント・パトリックス・デー」を祝い、盛大なパレードをはじめ、音楽やアート、演劇など数日に渡りさまざまなイベントが行われる、年間最大のお祭り。緑色を身につけるのがお約束。



©アイルランド政府観光庁

**併せて提案したい
旅行素材** 海岸線沿いのドライブルート「ワイルド・アトランティック・ウェイ」と、歴史を感じる東部エリア

アイルランド

イギリス

オランダ

ベルギー

フランス

ドイツ

スイス

ポーランド

チェコ

オーストリア

ハンガリー

モナコ

イタリア

マケドニア

ブルガリア

スペイン

マルタ

フィンランド

エストニア

ラトビア

リトアニア

トルコ



ベルギー・フランダース政府観光局

www.visitflanders.com/ja

聖血の行列

www.holyblood.com**場所** ブルージュ**日時** 毎年キリスト昇天祭の日(2019年は5月30日)

十字軍遠征の際、フランドル伯爵がエルサレムからキリストの聖血を持ち帰ったという言い伝えに由来。ブルージュ市民が聖書の中の逸話や当時の華やかな宮廷の様子を再現し、中世の装束をまとう町中を練り歩く。ユネスコの「無形文化遺産」。



©Visit Bruges, Jan Dierthet

**併せて提案したい
旅行素材** 世界遺産ブルージュの旧市街と、鐘楼、ベギン会院

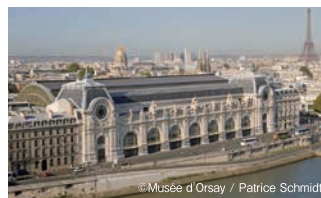
フランス観光開発機構

www.france.fr

オルセー美術館の特別印象派展「ペルト・モリゾ印象派の女性画家」

www.visitparisregion.com**場所** パリ／オルセー美術館**日時** 2019年6月18日～9月22日

日本人観光客に大人気の印象派の殿堂オルセー美術館にて、女性の印象派画家として知られるペルト・モリゾにスポットを当てた特別展を開催。当時の男性社会の中において女性らしい気品と強さを持ち合わせた彼女の魅力に迫る。



©Musée d'Orsay / Patrice Schmidt

**併せて提案したい
旅行素材** パリの印象派ゆかりの場所巡り

スペイン政府観光局

www.spain.info/ja

ラ・サルーの聖母祭り

www.algemesi.es/es/page/fiesta-mare-deu-salut**場所** アルヘメシ市(バレンシア州)**日時** 9月7日、8日

世界無形文化遺産。旧市街を舞台に、芝居や音楽、ダンスなど、さまざまなイベントが繰り広げられ、先祖代々受け継がれた舞踊や民謡が楽しめる。メインは聖母像を担いだ宗教行列。お祭りの民族衣装やアクセサリー、飾りなどは全部手作りだ。



©スペイン政府観光局

**併せて提案したい
旅行素材** バレンシア郊外の本格パエリア体験と、
スペインで最も美しい村のひとつ「Morella」

オランダ政府観光局

www.holland.com/jp

ズンデルトの花パレード

corsozundert.nl**場所** ズンデルト(南部)**日時** 毎年9月第1日曜日(2019年は9月1日)

ゴッホの生まれた村ズンデルトで開催される世界最大規模の花のパレード。ダリアの花で作られた巨大な山車が村を周り、その年の優勝を競う。ゆっくりと見学するなら、観覧席の予約がおすすめ。



©オランダ政府観光局

**併せて提案したい
旅行素材** ゴッホ生誕の地ファン・ゴッホ・ハウスと
ズンデルトのゴッホゆかりの地

ドイツ観光局

www.germany.travel

世界最大のワイン祭り「ヴルストマルクト」

www.bad-duerkheim.com/duerkheimer-wurstmarkt.html**場所** パート・デュルクハイム**日時** 9月中旬

ビールで知られるドイツだが、世界最大規模のワイン祭りが開催されている。ドイツワインの産地ファルツ地方で厳選収穫される葡萄でできたワインや移動遊園地、花火、コンサートなどを求め、世界各地からたくさんの人が集まる。フランクフルトからの日帰りも可能。



©Stadt Bad Dürkheim



スイス政府観光局

www.myswitzerland.com/ja

バーゼル・ファスナハト(カーニバル)

www.myswitzerland.com/ja/carnival-in-basel.html**場所** バーゼル**日時** 「灰の水曜日」後の月曜から水曜(2019年3月11～13日)

14世紀以前までさかのぼる歴史を誇るスイス最大のカーニバル。ねぶた祭りのような装飾を施した大きな灯籠を持って暗闇を練り歩くパレードに始まり、72時間続けて盛り上がる熱狂の3日間の祭り。世界無形文化遺産にも登録されている。

Copyright by Switzerland Tourism By-line: swiss-images.ch
Andreas Gerth



チューリッヒ観光局

Zuerich.com

春祭り「セクセロイテン(6時の鐘)」

www.zuerich.com/en/visit/sechselaeuten

場所 チューリッヒ中心部

日時 4月第3週目の日曜日と月曜日

2000人以上の民族衣装を着たスイス各州からのゲストが、チューリッヒ中心部に春の訪れを祝うために集結。この時期チューリッヒのホテルは一杯だが、空港近辺や第2の都市ラッパーズビル、ラインの滝で知られるシャッフハウゼンに泊まるのも一考だ。



©Zurich Tourism



チェコ政府観光局

czechtourism.com/jp/home

パーラヴァ・ブドウ収穫祭

czechtourism.com/jp/e/palava-grape-harvest

場所 ミクロフ

日時 9月第2週の週末(金～日)

近年注目を集めるチェコワイン。ミクロフはワインの名産地として知られ、盛大なブドウ収穫祭が毎年開催されている。伝統が色濃く残る南モラヴィア地方では、民族衣装をまとってのパレードや伝統工芸市、コンサート、騎士の馬上槍試合なども開催される。



併せて提案したい旅行素材 この時期にしか飲めない若いワイン「ブルチャーク」



ラトビア投資開発公社ツーリズム部門(LIAA)

www.latvia.travel/ja

民芸市

brivdabasmuzejs.lv/en/all-events

場所 ラトビア民族野外博物館(リガ)

日時 6月第一週末

ラトビア中から職人が集まる、年に一度の大民芸市。森の中で行われる民芸市は雰囲気も良く、1日ではまわりきれないほど広い会場にラトビアの工芸品が並ぶ。



photo by: Janis Baurta



モナコ政府観光会議局

www.visitmonaco.com/ja

モンテカルロ国際サーカス・フェスティバル

www.montecarlofestival.mc

場所 モンテカルロ

日時 毎年1月(2019年は1月17～27日)

毎年、シルク・ドゥ・ソレイユなど、世界を代表するサーカス団が集結。10日間にわたり、見事なパフォーマンスが繰り広げられる。最も偉大なアーティストには「ゴールデン・クラウン賞」が授与される「サーカス界のオリンピック」と呼ばれるイベント。



©MONTE-CARLO Société des Bains de Mer



オーストリア政府観光局

www.austria.info

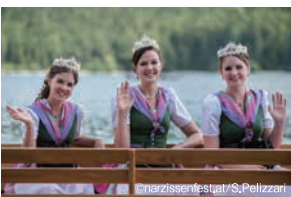
第60回水仙祭り

www.narzissenfest.at/en

場所 アウスゼーアーランド地域(シュタイヤマルク州ザルツカンマーグート地方)

日時 2019年5月30日～6月2日

オーストリア最大の花祭り。バード・アウスゼーの通りには水仙で作られたオブジェが並び、ローカル・フードも楽しめる。音楽隊と民族衣装を着た地元の人達によるパレードや、アルト・アウスゼー湖畔に沿った水仙のオブジェが載ったボートのパレードも必見。



©narzissenfest.at/S.Pelizzari

併せて提案したい旅行素材 バード・イシュルやハルシュタットの観光・滞在



リトアニア政府観光局

www.lithuania.travel

カジューカス祭り

www.vilnius-tourism.lt/en/kaziukas-fair

場所 ビリニュス旧市街を中心に

日時 3月

春を告げるお祭り。カシミール大公の命日(3月4日)にちなみ、何百もの出店が通りを埋め尽くし、リトアニアの工芸品や民芸品、食べ物などがずらりと並ぶ。リトアニア中から職人が集まり、数万人の訪問客がリトアニア国内外から訪れる。



イタリア政府観光局

visitaly.jp

アルバ 国際白トリュフ祭

www.fieradeltartufo.org

場所 ピエモンテ州アルバ

日時 2018年は10月6日～11月25日

白トリュフはアルバ他ピエモンテ州特産の高級食材。この祭典は業者だけでなく、食、ワイン、文化が融合し、期間中土日にはトリュフマーケットや特産物ブース、イベントがあり、世界中の食通旅行者やグルメ達にも人気。



©Archivio Ente Turisma Alba Bra Langhe Roero

併せて提案したい旅行素材 世界遺産に登録されているバローロやバルバレスコ村でのワイナリー巡りなど



駐日ハンガリー大使館観光室

www.hungarytabi.jp

ブダペスト クリスマス マーケット

www.budapestchristmas.com

場所 ヴルシマルティ広場と聖イシュヴァーン大聖堂前広場

日時 11月中旬から年末

天然素材を用いた手作りの伝統な商品を販売するヴルシマルティ広場中心のマーケットに加え、徒歩圏にある聖イシュヴァーン大聖堂前広場にもマーケットが加わり、充実したブダペスト観光を楽しむことができる。



©adventinnepzu

併せて提案したい旅行素材 冷えた体を温めるセーチェーニ温泉やゲッレールト温泉がおすすめ



ブルガリア観光センター

jseeba.com

OPERA OPEN

operaplovdiv.bg

場所 プロヴディフ

日時 6～7月

2世紀に建てられたローマ時代の古代劇場跡をそのまま活用した会場で、1か月間さまざまなオペラの舞台を楽しむことができる。古代と現代が織りなす幻想的な文化の空気感を体験しに、国内外から毎年多くの人が足を運ぶ。



©Plovdiv 2019

併せて提案したい旅行素材 プロヴディフ中心地から20～30km圏内で楽しめるワイナリーツアー



マルタ観光局

www.mtjapan.com

インガーディア パレード

www.mtjapan.com/inguardia.html

場所 ヴァレッタ／聖エルモ砦または騎士団長の宮殿

日時 通年／日曜日開催(開催日はマルタ観光局HPにて要確認)

中世の聖ヨハネ騎士団がオスマン帝国との戦いに備え、日々行っていた訓練や軍事演習の再現イベント。鼓笛隊の先導のもと、槍部隊、マスケット銃部隊、大砲部隊と武器を使ったショーは迫力満点。



©Viewingmalta.com

併せて提案したい旅行素材 年間を通じて温暖なマルタ。夏はクリスタルブルーに輝く地中海、その他のシーズンは中世の町歩きや古代神殿巡りなど、いつでも楽しめる。



Visit Finland(フィンランド政府観光局)

www.visitfinland.com/ja

エアギター世界選手権

www.airguitarworldchampionships.com

場所 オウル

日時 毎年8月下旬

「武器の代わりにエアギターを」と、世界の皆がエアギターを弾いていたら、誰もが銃を握ることができず、すべての戦争は終わり、気候変動は止まり、世界は誰にとってももっと良くなるだろうという、実はとても真面目なメッセージが込められているイベント。



©Juusko Haatala

併せて提案したい旅行素材 夏は大自然を体験、冬は凍った海でのアクティビティーが豊富



マケドニア政府観光局

macedonia-timeless.com

ボディツィ、イエス・キリストの洗礼

www.macedoniancuisine.com/2017/01/vodici-day-stojhn-baptized-jesus.html

場所 マケドニア共和国全土、特に首都スコピエとオフリド地域

日時 1月19日と20日

マケドニア正教の教えに基づき、イエス・キリストが洗礼者ヨハネからヨルダン川にて洗礼を受けたことを記念するお祭り。司祭が十字架を川に投げ入れ、それを掴んだ人は1年間祝福されると言われる。



ポーランド政府観光局

poland.travel/ja

聖ドミニコ市

jarmarkdominika.pl

場所 グダンスク

日時 7月末から8月中旬

かつてハンザ都市として栄えた港町グダンスクで、中世から650年以上続く伝統ある祭り。7月末から約2週間開催され、中世の装束が華やぎをみせるパレードや蚤の市、各地の名産品を扱う屋台が並ぶ様は夏のグダンスクの風物詩になっている。



併せて提案したい旅行素材 遊覧船(海賊船)、世界遺産マルボルク城、琥珀工房、ヴェステルプラッテ記念碑(第2次世界大戦勃発の地)



エストニア政府観光局

www.visitestonia.com/en

エストニア 歌と踊りの祭典2019

2019.laulupidu.ee

場所 タリン

日時 2019年7月4～7日

5年に1度、国を挙げて盛大に行われるこの祭典は、150年もの歴史を誇る。各地からダンスグループや合唱団が集まり、前回(2014年)は3日間で約20万人が参加した。2019年のテーマは「My Fatherland is My Love」。



©Sanni Saal



トルコ共和国大使館・文化広報参事官室

www.tourismturkey.jp

アラチャト・ハーブ・フェスティバル

場所 トルコエーゲ海地方／イズミル県

日時 毎年4月上旬

第3の都市イズミルから西方に位置する風車とウインドサーフィンが有名なエーゲ海リゾートで開催されるハーブの祭典。地元産ハーブを使った郷土料理、サクズ(天然のガム「マスティック」)入りのワインやお菓子を売るスタンドを散策するのも楽しい。



写真提供:トルコ共和国大使館・文化広報参事官室

併せて提案したい旅行素材 近郊にあるトルコ初の「チッタスロー」に登録されたセフェリヒサルで毎週日曜日に開催される「スアジューク女性マーケット」

2019年の

欧州文化首都

Team EUROPEは、ヨーロッパの新しい旅行トレンドを作り出すべく、その施策のひとつとして、「欧州文化首都」の訴求に力を入れている。実際に欧州文化首都の制定を受けた都市を組み込んだ旅行商品が増加、今後もより一層の取り組みが求められるところだ。来年、2019年の欧州文化首都を紹介したい。

Team
EUROPE



マテラ
Matera

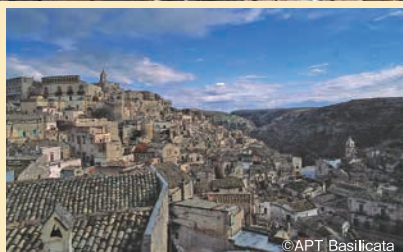
イタリア(バジリカータ州)



©Fototeca ENIT



©Fototeca ENIT



©APT Basilicata



©APT Basilicata

マテラは、バジリカータ州にある世界遺産サッシ(洞窟住居)の類まれなる景観と歴史的価値で有名な街で、南イタリア観光の重要名所。2019年欧州文化首都に選ばれたマテラでは、年間を通してさまざまな文化芸術プログラムが市民と一体となって繰り広げられる。

ポイント

世界遺産「マテラの洞窟住居サッシと岩窟教会公園」

サッシ住居地区の歴史

- 1952年の発令で、2万人近くのサッシ住居住人が強制退去させられ新市街地区へ
- 1986年にサッシの保護・再生法律が制定され居住再開
- 1993年にユネスコが「世界文化遺産」として登録
- サッシにホテルやレストランが多数オープン
- 2019年の「欧州文化首都」に指定される

「Open Future」をメインテーマにイベントを多数開催

イベントなど詳しくは www.matera-basilicata2019.it/en



プロヴディフ
Plovdiv

ブルガリア



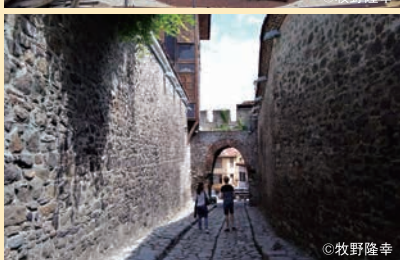
©牧野隆幸



©諫山三武



©牧野隆幸



©牧野隆幸

6千年の歴史を誇る街プロヴディフ。ブルガリア第2の都市の現代風景に、多種多彩な遺産が溶け込んでいる。ローマ時代の遺跡や旧市街の石畳、18世紀の愛くるしい家屋、丘から見下ろす街並み。数分歩くだけで移りゆくヨーロッパ史が感じられる街は、なかなか存在しないだろう。

ポイント

ブルガリアで2番目に大きな都市 観光にふさわしい「洗練さ」と「程よいサイズ感」

歴史深い街 紀元前4000年まで遡ることができ、ヨーロッパで最も古い都市のひとつ

豊かな文化遺産 劇場跡や競技場跡といったローマ時代の遺跡から、民族復興期(18～19世紀)を垣間見るレトロな街並みまで、幅広く触れられる歴史文化

温かく親切な人々 ゆったり流れる時間の中で育まれた気さくな雰囲気

もちろんショッピングも 衣服・小物・食事など、思い出づくりのお土産に最適なメインストリート

「Together」をメインテーマにイベントを多数開催

イベントなど詳しくは plovdiv2019.eu/en

欧州文化首都とは？

「真の統合には、それぞれの文化の相互理解が不可欠」という考えを受け、1985年より欧州連合(EU、当時はEC)が毎年制定しているもの。当初は1都市だったが、加盟国の拡大を受け、2000年より複数の都市を制定するようになった。現在は、2カ国2都市を制定する流れが定着。現在、2022年まで都市が決まっている(国については2033年まで決定済)。

EU・ジャパンフェスト

1993年のアントワープ(ベルギー)よりスタート。欧州文化首都に制定された都市において、日本文化を紹介するイベント実施をサポート、日欧の文化交流の一端を担っている。ジャンルは多岐にわたり、年々その規模は拡大している。

これまでの欧州文化首都

1985年	アテネ(ギリシャ)
1986年	フィレンツェ(イタリア)
1993年	アントワープ(ベルギー)
2016年	第1回EU・ジャパンフェスト開催 サン・セバスティアン(スペイン)／ ヴロツワフ(ポーランド)
2017年	パフォス(キプロス)／ オーフス(デンマーク)
2018年	ヴァレッタ(マルタ)／ レーワルデン(オランダ)

これからの欧州文化首都

2020年	リエカ(クロアチア)／ ゴールウェイ(アイルランド)
2021年	ティミショアラ(ルーマニア)／ エレフシナ(ギリシャ)／ ノヴィ・サド(セルビア)
2022年	カウナス(リトアニア)／ エシュ(ルクセンブルク)

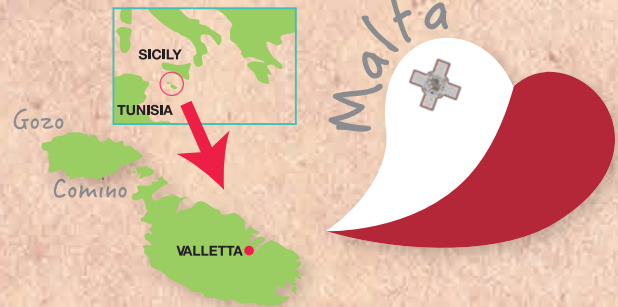
詳しくは以下ウェブサイトまで

EU・ジャパンフェスト日本委員会
www.eu-japanfest.org

Team EUROPE情報Webサイト
www.jata-net.or.jp/team-europe

マルタと日本の交流発展に 大きな期待

スポーツツーリズムにも大きな可能性



マルタの観光産業発展にアドバイスを 法改正で留学生の就労可能に

マルタ共和国
首相
ジョセフ・ムスカット 氏

まずは日本の皆様、そして旅行業界の関係者の方々にマルタを代表して感謝を申し上げます。マルタを訪れる日本人観光客数は順調に推移しており、昨年は約1万9000人に達しました。観光産業は我が国の基幹産業の一つであり、今後もさらなる成長を期待しています。それを実現するには日本の皆様の力が欠かせません。

マルタは小さな国ではありますが、観光産業によって世界にマルタの存在感を発揮することが可能になっています。今後、観光産業の発展を加速させていく上では、経済の側面から観光産業の在り方を議論していくことが重要であると考えられます。そうした観点から、日本の旅行業界の方々からも、ぜひとも良いアイデアやアドバイスがあったら共有いただきたいと思います。



マルタを訪れた日本人旅行者の皆様には、地中海の美しい景色や世界遺産などの観光資源を楽しんでいただくことに加え、多彩な文化に触れていただくこともできます。こうしたマルタの魅力を、これからも積極的に日本に伝えていけるように努力していく考えです。

マルタには、留学や語学研修を目的に数多くの日本の若者が滞在しています。国としても若者を誘致する教育旅行を重視しており、若者の来訪促進とマルタにおける労働人口の拡大という狙いを兼ねて、このほど法改正を実施。マルタで学ぶ留学生は、マルタ国内で就労することが可能になりました。

観光客にとつての旅行先、留学生にとつての滞在先として、マルタは満足していただける体験を提供できる場所であると信じています。



地中海の他の島とは異なる個性 マルタ島、ゴゾ島、コミノ島の輝き

マルタ観光局
CEO代理兼チーフ・マーケティング・オフィサー
カルロ・ミカレフ 氏

かつて子供時代に「キャプテン翼」や「釣りキチ三平」、「タイガーマスク」といった日本アニメに胸をときめかせていた私が、今年7月、マルタ観光局の一員として初めて日本を訪れることができようとは、思ってもみないことでした。私が子供時代を過ごした頃のマルタは、150年以上にわたる英国統治から独立したばかりで、観光産業はようやく国家経済に組み込まれようとしている最初の段階であり、現在のような発展ぶりは想像できませんでした。それから考えると、遠く日本からも多くの旅行者が訪れてくれる今の状況は夢のようでもあります。

マルタは穏やかで快適な気候、素晴らしく青い海と空、さらにはローマ帝国時代からイスラム帝国時代、マルタ騎士団時代、そしてフランスや英国が統治した時代へと続く歴史が紡いだ数々の歴史遺産をはじめとする豊かな観光資源に恵まれ、マルタ島・ゴゾ島・コミノ島などで構成されるマルタは、地中海の他の島々とは異なる輝きを放つ個性的な島国となっています。わずか316km²の小さな島国ではあってもさまざまな観光要素が豊富にあり、それでいて各観光スポット間の距離が近くコンパクトに



まとまっているのが強みです。

日本には1997年に観光局のオフィスを開設しましたが、長年にわたり、日本オフィスは単なる観光局の海外支局として以上の役割を果たしてくれました。そのおかげで日本におけるマルタの認知度は高まり、現在の旅行者の順調な増加につながっています。そしてもちろん日本の旅行業界の皆様のご多大なご協力が我々の背中を力強く後押ししてくれました。今後とも皆様の変わらぬ協力をお願いいたします。

Sports Tourism

歴史と隣り合わせに走る

マルタマラソン

マルタマラソンは、毎年1回マルタ島で開催されている。次回は2019年2月24日に第34回大会として開催予定だ。フルマラソンだけでなく、ハーフマラソン、Endoウォークソン(21.097km)、ノルディックウォーク(同)の4種目があり、フルマラソンは18歳以上、その他の種目は17歳以上なら参加でき、若者からシニアまで誰でも楽しめる大会となっている。また毎年2月の最終日曜日の開催だが、この時期は他の欧州各国はまだ冬のさなか。温暖な気候に恵まれたマルタだからこそこの開催時期だ。ヨーロッパで、その年の最初に開催されるマラソン大会としても知られる。



コースはマルタを代表する古都イムディーナをスタートして標高差200mを駆け下り、海拔0mの港町、スリーマのフェリーターミナルにゴールする典型的なダウンヒルコース



スが特徴だ。コースの途中には何世紀にもわたってマルタの給水を担った水道橋や、17世紀に建てられた騎士団の建築物、ヨーロッパ第3位の規模を持つドーム教会があるモスタの町などがあり、歴史の隣を駆け抜ける魅力的なマラソンコースとなっている。

コースの要所や給水スポットでボランティアが笑顔の声援を送ってくれるだけでなく、沿道のあちこちで地元住民が楽器演奏などでランナーを応援してくれる。アットホームで温かい雰囲気もマルタマラソンの魅力だ。またゴール地点のスリーマは、レストランが充実したエリアで、ゴール後すぐに美味しい料理と飲み物で疲れを癒せるのもマルタマラソンならではの楽しみだ。

マルタマラソンは2016年大会以降、参加者が増加しており完走者数は2016年3821人、2017年3959人、2018年4309人となっている。日本人ランナーも毎年50~100人前後が参加している。

マルタでトライアスロン

マルタ島では毎年数多くのトライアスロン大会が開催されている。2018年も3月にはトライアスロンシーズンの開幕を告げる標準距離のトライアスロン大会、5月にはミドルディスタンスの「マルタ113kmトライアスロン」、6月、7月、9月には短距離型のスプリント・トライアスロン大会、8月にはナショナル・トライアスロン大会、そして10月にはシーズン最後を飾る「マルタ・ナショナル・トライアスロン・チャンピオンシップ」が開催される。今年は10月14日の開催だ。

マルタ代表が決まる真剣勝負の場であると同時に、美しい海で泳ぎ、歴史的景観が見飽きないマルタ島をランやバイクで駆け抜けるトライアスロンは、他の国でのレースにない魅力に満ちた内容だ。



ゴゾ・ウルトラトレイル

ゴゾ島で開催される「ゴゾ・ウルトラトレイル」は、ゴゾ島の大自然の中を走り抜ける大会で、55kmと21kmのコースがある。崖の上の草原や急峻な谷、砂浜、岩場の海岸など、ゴゾ島ならではの地形に富んだ地形を生かしたコース設定が特徴。雄大な景観を見ながらのランは爽快そのものだ。21kmのコースでは、マウンテンバイクを使ったレースも開催されるのもユニークだ。

エクステラ・マルタ

エクステラとはオフロード版トライアスロンのような競技だ。スイム、マウンテンバイク、トレイルランで合計数十キロを戦い抜く。レースは過酷だが、オフロードで行われる競技だけにコース上はどこをとっても絶景な場所ばかり。マルタらしい自然景観の素晴らしさを堪能しながらエクステラに挑戦するなら、エクステラ・マルタは見逃せないはずだ。2019年は5月4日にゴゾ島で「エクステラ・ゴゾ・トレイルラン or MTB」、5月18日に「エクステラ・マルタ・トライアスロン」大会が開催の予定だ。



今、トルコへ！ 新しい観光の魅力が続々

「文明の交差点」として、ユニークで多彩な魅力にあふれるトルコ。
新たな動きや注目のデスティネーションを紹介したい。

トルコ



① トロイ遺跡

世界遺産登録20周年 「トロイ博物館」開館



10～11月オープン予定の「トロイ博物館」

「トロイの木馬」で有名なトロイ遺跡が2018年に世界遺産登録20周年を迎えた。トルコ文化観光省はこれを記念して2018年をトルコにおける「トロイ年」と制定、その事業の一環として10～11月に「トロイ博物館」の開館が見込まれている。アメリカから返還されたギリシャ神話に登場する絶世の美女ヘレネの遺品とされる24の金の装飾品をはじめ、7つのテーマに分かれた展示は、最新のテクノロジーを駆使したもので、約5000年の歴史をわかりやすく理解できる。



② ギョベクリテペ遺跡

人類最初の居住地 世界遺産に新登録



2018年7月に世界遺産に登録されたばかりのギョベクリテペ遺跡(南東アナトリア地方)は、人類最古の居住地とも言われ、1万2000年前に祭祀に用いられていたと考えられる、3～6mにも及ぶ巨大なT字型の石柱構造物には、牛やイノシシ、キツネなどの野生動物の描写が施され、ライオンや人間の彫像なども発掘されている。人類の歴史を知る上でも注目の遺跡だ。

トルコは文明の交差点 新しい観光素材をぜひ商品造成に



デフネ・オズアルプ

トルコ共和国大使館・文化広報参事官室
日本・韓国・台湾担当

トルコへの日本人渡航者数は、2018年1～6月の累計で、3万5000人を超え、前年同期比で84%もの伸びを見せており、マーケットは急回復しています。治安上の懸念は既に払拭されており、世界の他の都市と同じレベルであると言えます。

今後は、「チッタスロー」やガストロノミーの魅力を日本マーケットに訴求したいと考えております。特に来年以降は本格的なプロモーション展開を図る予定です。

日本の旅行商品については、もっぱらカッパドキアやイスタンブール、パムッカレなどのパッケージが多い印象を受けます。文化体験を重視する日本の皆様にとって、トルコはもっと訴求できる観光素材がたくさんあります。

例えば、フリギア渓谷は、カッパドキアのような奇岩などが見られ、日本人に馴染み深い神話の縁の地が点在しています。こうしたすぐれたデスティネーションをぜひ新しいパッケージに加えて頂きたいです。

トルコはヨーロッパとアジアの架け橋として、何十世紀に渡って歴史や文化が蓄積され、さまざまな文化が共存しています。古代ギリシャやローマ、ビザンチン、セルチュク、オスマンなど、数多くの文明が共存しているのは世界広しといえどもトルコだけです。

③ チッタスロー

豊かな歴史と文化、自然 本物のトルコの魅力に触れる



③-A ギョクチェ島(チャナッカレ県)



③-B セフェリヒサル(イズミル県)

「チッタスロー(スローシティ)」は、地域独自の歴史や文化、自然を尊重し、質の高い生活と街づくりを進めようとするイタリア発の活動。トルコには全土に15ヶ所のチッタスローが点在。そこにあるのは、豊かな歴史と文化、自然に育まれた本物のトルコ。そのどれもが訪れる価値のある魅力的な場所ばかりだ。



③-C エイルディル(ウスバルタ県)



③-D アクヤカ(ムーラ県)



③-E タラックル(サカルヤ県)

④ フリギア渓谷

古代フリギア王国の歴史を探る ウォーキング、マラソンも



ミダス王の墓

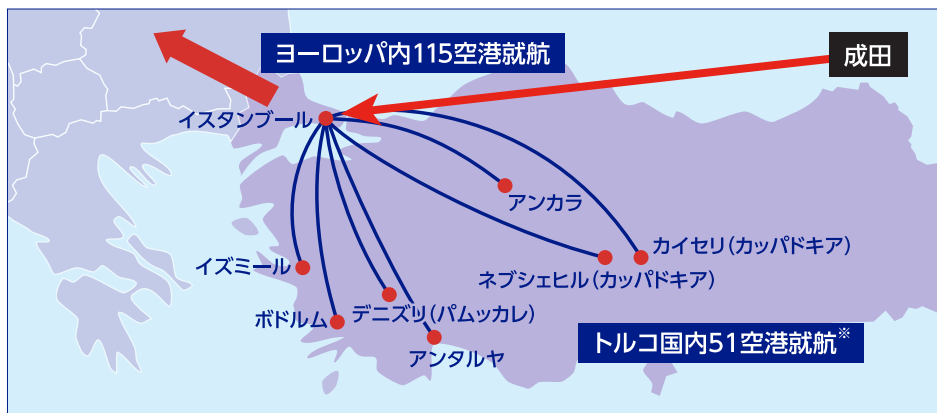
ヒッタイト帝国の後、紀元前8世紀にアナトリアを治めたフリギア王国。ギリシャ神話に出てくる「ゴルディアスの結び目」で知られる初代ゴルディアス王や、触ったものをすべて黄金に変える能力を備えたとされる2代ミダス王など、数々の伝説が歴史ロマンを掻き立てる。そんな数々のエピソードが残る遺跡を訪ねたり、ウォーキングルートやウルトラ・マラソンに参加したり、歴史豊かな土地で数々のアクティビティを体験してみたい。

ターキッシュ エアラインズ Turkish Airlines

ターキッシュ エアラインズで行く トルコ、ヨーロッパ



世界122ヶ国／304都市へフライトを運航するターキッシュ エアラインズ。
世界最大の圧倒的なネットワークで、日本からトルコへ、
そしてその先のヨーロッパへ利便性の高いアクセスを提供する。



*トルコ国内線の一部を抜粋

プロゴルファー谷原秀人選手と専属契約 広告などPR活動に参加

2018年4月19日より、プロゴルファー谷原秀人選手との専属プロ契約を締結。現在、谷原選手は、ターキッシュ エアラインズのロゴ入りポロシャツを着用、「ターキッシュ エアラインズ アンバサダー」として、全世界でPR活動をしている。

谷原選手は、2018年11月にトルコのアンタルヤで開催予定の「ターキッシュ エアラ

インズ オープン」に参戦予定。アンタルヤは地中海沿岸のリゾート地で、年間300日は晴天に恵まれる。ゴルフリゾートとしてもヨーロッパ各国のゴルファーから大変人気。ターキッシュ エアラインズでは、ゴルフバッグを無料で運搬するなど、ゴルファー向けの特別サービスを実施している。



トルコ国内51空港へ ヨーロッパへは115空港へアクセス

ターキッシュ エアラインズは、トルコのフラッグキャリアとして、トルコ国内51都市へ運航。エゲ海・地中海エリアのイズミールやボドルム、アンタルヤ、また Cappadocia に近いネブシェヒルやカイセリなど、日本からのフライトが飛ぶイスタンブールを経由してスムーズにアクセスできる。

さらにヨーロッパへは、115空港へ就航。例えばフランスやスペイン、ドイツや

イタリア、英国など、複数の主要都市への路線を展開しているため、多彩な周遊ルートの設定が可能だ。マルタやバルカン半島など、注目を集めるエリアへも数多くのフライトを運航する。

ターキッシュ エアラインズでは、季節限定のキャンペーン運賃を定期的に設定。リーズナブルな価格で、この充実のネットワークをフルに活用できるのでぜひ注目したい。

メフメット・アカイ

ターキッシュ エアラインズ
東京支社 支社長

今年5月2日より成田—イスタンブール線にB777-300ER型機を投入し、供給座席数で昨年より約2万席増やしました。ロードファクターは平均で90%を超え、特にビジネスクラスが好調です。来年の夏期スケジュールも引き続き同機材を投入しますが、4月1日から、導入時期を早める予定です。

日本路線が好調な理由には、まずトルコの地理的なロケーションの良さがあります。まさに東西の架け橋として、イスタンブールからヨーロッパのどこへでも3時間以内でアクセスすることができます。

現在、日本路線の75%がイスタンブールを経由する乗り継ぎ需要です。当社はヨーロッパ115空港へ乗り入れており、主要都市だけでなく、イタリアやスペイン、東欧などへは、複数の都市に乗り入れています。ひとつの空港へ毎日複数のフライトを運航している点も大きな強みです。

また、トルコ自体が世界的人気のトップ10に入る観光地であるということも大きいでしょう。日本を含む世界



各地からトルコへの訪問者数は伸びており、今年は過去最高を記録すると見られています。当社はトルコのナショナルフラッグキャリアとして、ビジネス、レジャー両面で大きなアドバンテージがあります。

東京は、当社にとってアジアで2番目に古い就航地であり、2019年に就航30周年を迎える予定です。今後の目標は、羽田への乗り入れです。トルコと日本の両政府の航空交渉次第となりますが、現在の成田の路線を維持した上で、羽田空港の国際線発着枠が増える2020年の実現を目指します。さらに関西への復便も2020年までに実現させたいと考えています。

イスタンブール新国際空港が10月29日にオープン 世界最大規模の空港に



2018年10月29日、ターキッシュ エアラインズのハブであるイスタンブールに、新空港がオープンする予定だ。ヨーロッパ側に位置し、中心部とは所要時間

25分の地下鉄で結ばれる予定。総面積は東京ドーム17個分に相当、世界最大規模の空港として、最終的には年間2億人の利用に対応可能だ。

「レゴ® ムービー」シリーズの 機内安全ビデオが登場



ターキッシュ エアラインズは、新たにレゴ®のミニフィギュアによるアニメーション型の機内安全ビデオの放映を開始した。ビデオはワーナー・ブラザースとの共同制作で、2019年2月上旬の上映を控える「レゴ ムービー2」の制作チームが手がけたもの。人気キャラクターたちが歌とダンスナンバーを交

えながらユニークなスタイルで、丁寧に機内安全のための手順を伝える。ビデオはターキッシュ エアラインズのYouTubeチャンネルでも視聴可能だ。

ターキッシュ エアラインズ
YouTubeチャンネル

www.youtube.com/user/TURKISHAIRLINES



感動を求めて

世界で一番多くの国へ飛ぶ私達と



ターキッシュ エアラインズ

TURKISHAIRLINES.COM

A STAR ALLIANCE MEMBER

